

令和3年度

食品ロス及びプラスチックごみ削減に向けた取り組み
に関する協定の実施状況

令和4年5月

磐田市 ごみ対策課

目次

1	協定の趣旨	1
2	令和3年度の主な取組み	2
3	協定賛同事業所・店舗一覧(令和4年3月末現在)	4
4	事業所アンケート結果	
	(1)協定に関する全体的なことについて	5
	(2)食品ロス削減	8
	(3)プラごみ削減	10
5	参考(効果)	12
	(1)レジ袋	
	(2)食品ロス	

磐田市における食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取組みに関する協定

協定賛同事業所、いわた消費者協会及び磐田市は、循環型社会の形成を目指し、ごみ減量化、二酸化炭素の削減、石油資源の節減を推進するため、これまで取組んできた「レジ袋削減に向けた取組み」が一定の成果をあげたことから、新たな展開として、それぞれの立場で相互に協力・連携して以下のとおり食品ロス及びプラスチックごみの削減に取り組めます。

- 1 協定賛同事業所は、食品ロス及びプラスチックごみの削減に取り組むとともに、取り組み状況等を磐田市へ報告します。
- 2 いわた消費者協会は、食品ロス及びプラスチックごみの削減を広く市民に呼びかけるとともに、協定賛同店が実施する食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取り組みが広く市民に認知されるよう積極的に支援します。
- 3 磐田市は、協定賛同事業所が行う食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取り組みについて、営業において不利にならないよう効果的なPRなどの支援を行うとともに、効果や課題を調査し公表します。
- 4 この協定に定める事項を変更しようとするとき、この協定に定めのない事項で必要が生じたとき、又はこの協定に関し疑義が生じたときは、協定締結当事者間で協議の上、定めるものとします。

令和3年6月30日

1 協定の趣旨

近年、プラスチックごみが河川等を通じて内陸から海へ流れ込み、生態系を含めた環境の悪化をもたらすなど大きな課題となっています。また、毎日の食事の確保も難しい人々がいる一方で、食料が大量に廃棄されている現実があります。

国ではこれらの課題の解決を目指し、資源を有効に活用し、環境を保全するため、「食品ロスの削減の推進に関する法律」や「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が制定されたところです。

本市では、10年程前からレジ袋の排出抑制を進めるため、いわた消費者協会、市内スーパーなど15社33店舗と「レジ袋削減に向けた取組みに関する協定」を締結し、レジ袋有料化やマイバッグ持参運動などの啓発を行ってきたこともあり、協力店でのレジ袋辞退率は9割を超えるなど成果を上げてきました。

また、令和3年6月14日には、活気あふれる社会環境を守り育てるとともに恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素の排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

この協定をもとに、これまでの取組みを活かし、循環型社会の形成に向けて市民、事業者、団体、行政が互いに連携・協力し、食品ロス及びプラスチックごみ削減に向けた取組みを進めていくものです。

2 令和3年度の主な取組みについて

① 全体的な取組み

「食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取組みに関する協定」を締結

令和3年6月30日に14社（32店舗）と協定を締結
ゼロカーボンシティに向けた取組みの第一歩として、市民、事業者、消費者団体、磐田市が連携して、食品ロスやプラスチックごみの削減に取り組む。



② 食品ロス削減に向けた取組み

「値引きシールを集めて食品ロス削減キャンペーン」を実施

25店舗で実施（令和3年10月30日から令和4年1月11日まで）
食品ロス削減の意識啓発を図るため、事業者及びいわた消費者協会と実施。応募数は約4,200通と好評、抽選で100名にエコグッズを贈呈。



食品ロス削減ポップ「手前から取ってもらえるとうれしっぺい」

協賛店 26店・セブンイレブン 28店へ配布し、店舗商品陳列棚に掲示。（令和3年7月末から10月末まで）



③ 10月の「3R推進月間」及び「食品ロス削減月間」に併せた普及啓発 展示コーナーの活用による啓発

3R（リデュース・リユース・リサイクル）と食品ロス削減を推進するため、市役所本庁舎やひと・ほんの庭にこっと展示コーナーで啓発展示を実施。

ミニイベントを実施

3Rと食品ロス削減を推進するため、ひと・ほんの庭にこっと、中央図書館で、食品ロス削減クイズや関連絵本の読み聞かせを行うミニイベントを実施。



④ プラスチックごみ削減に関する取組み

しっぺいの100%紙製ファイルによる啓発

ゼロカーボンシティの取組みの一環であるプラスチックごみ削減のため、100%紙製のクリアファイルを作成し、市民や事業所等に啓発。

プラスチック製品（ペットボトル、トレイ等）の回収店舗を
市ホームページで周知



⑤広報いわた、報道等での啓発

広報いわた

令和3年10月号 特集「もったいない 減らそう！食品ロス」

市議会だより「いわた羅針盤」

令和4年5月号 特集「ゼロカーボンシティへの第一歩」

■参考：報道等一覧

1 令和3年7月2日(金)：中日新聞

「食品ロスとごみ減 磐田市 市民団体や業者と協定」

2 令和3年7月4日(日)：静岡新聞

「食品ロスプラごみ削減へ磐田市事業者らと協定県内初」

3 令和3年10月14日(木)：広報いわた10月号

「値引きシールを集めて食品ロス削減キャンペーン」

4 令和3年11月1日(月)：時事通信 i JAMP

「値引きシールでオリジナルグッズ＝静岡県磐田市」

5 令和3年11月4日(木) 18:15～：静岡第一テレビ (news every. しずおか)

「値引きシールで食品ロス削減へ」

6 令和3年11月12日(金)：静岡新聞

「シールで食品ロス防止へ 磐田市 集めてプレゼントも」

7 令和3年11月17日(水)：中日新聞

「値引きシール集め 食品ロス削減 磐田市がキャンペーン」

8 令和3年12月2日(木)：静岡新聞

「食品ロス削減へPRイベント」(＝ひと・ほんの庭にこっと)

9 令和4年1月28日(金)：静岡新聞

「磐田市、プラごみ削減へ、紙ファイル製作」

10 令和4年1月28日(金)：中日新聞

「クリアファイル 紙で作りました」

3 協定賛同事業所・店舗一覧(令和4年3月末現在)

1 4 事業所 3 3 店舗(50音順)

事業所名	店舗名
遠州中央農業協同組合	磐田南部どっさり市
	ふくの市
	見付どっさり市
遠鉄アシスト株式会社	磐田市竜洋海洋公園 レストハウスしおさい竜洋
株式会社遠鉄ストア	遠鉄ストア 池田店
	遠鉄ストア 磐田店
	遠鉄ストア 見付店
	遠鉄ストア 竜洋店
株式会社クリエイトエス・ディー	クリエイトエス・ディー 磐田今之浦店
	クリエイトエス・ディー 磐田福田町店
株式会社ジェイエイ遠中サービス	Aコープ 豊田中央店
株式会社食鮮館タイヨー	食鮮館タイヨー 福田店
株式会社タカラ・エムシー	フードマーケット マム磐田南店
	フードマーケット マム竜洋店
株式会社とよおか採れたて元気むら	とよおか採れたて元気むら
株式会社浜松白洋舎	ジャブ 遠鉄ストア 池田店
	ジャブ 遠鉄ストア 見付店
	ジャブ 遠鉄ストア 竜洋店
	浜松白洋舎 今之浦店
	浜庄白洋舎 貝塚店
	浜松白洋舎 北島店
	浜松白洋舎 豊田店
株式会社バロー	バロー 磐田店
株式会社ビッグ富士	エブリイビッグデー 磐田店
	エブリイビッグデー ららぽーと磐田店
株式会社ベイシア	ベイシア 磐田豊岡店
マックスバリュ東海株式会社	マックスバリュ 磐田中泉店
	マックスバリュ 磐田西貝塚店
	マックスバリュ エクスプレス 磐田見付店
	マックスバリュ 豊田店
	マックスバリュ 福田店
ユニー株式会社	アピタ 磐田店
	ピアゴ 上岡田店

4 協定賛同店アンケート集計結果

令和4年3月、協定賛同店14事業所(33店舗)を対象に、協定に基づくアンケート調査を実施。

(1) 協定に関する全体的なことについて

総回答数 14事業所(33店舗)

① 「食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取組みに関する協定」に参加しての評価

ア 大変良かった	4	(約29%)
イ 良かった	10	(約71%)
ウ 良くなかった	0	(0%)
エ まったく良くなかった	0	(0%)

■主なコメント

大変良かったと回答した事業所

- ・これまでは、お店として「値引き商品」・「期限間近の商品」を、販売することを マイナスと捉えて、食品ロスになることが多かったが、この取組みで お店側にとっても・お客様側にとっても、環境に配慮した 良い活動と認識させることができた。
- ・協定締結後のキックオフの啓発イベントを見付どっさり市にて開催していただき、ありがとうございます。また、しっぺいの資材や値引きシールキャンペーンの準備など市の担当の方で丁寧に配慮していただき、助かりました。
- ・小売の立場と致しまして、今回のように商品を購入後の応募の窓口を磐田市様が行なって頂く方法は非常に助かります。今後は取組の性質上申込用紙の簡素化等紙の使用も抑えられたら良いと思います。
- ・食品ロス及びプラスチックごみ削減に対する自社の意識を高めることに繋がっていると感じます。市のほうから積極的に取り組み・キャンペーン等をご提案いただき、市・企業・お客様一体となって環境問題に取り組んでいることは素晴らしいと思います。

良かったと回答した事業所

- ・販売点数の増加など成果が見られました。とにかくお客様への認知が最重要と考えます。販売資材の拡充をお考えいただけたら、と思います。
- ・地場産品直売所なので、食品ロス及びプラスチックゴミは、ほとんど出ません。残荷は出荷者が持ち帰ります。
- ・啓発活動に協力できるという点で良かったといえる。今後、目にみえる効果を得られるような取り組みになることを期待する。
- ・自治体・市民・事業者が連携して取り組むことが重要なため。形式的な協定ではなく、啓発ツールの設置やキャンペーンの開催など具体的な取り組みを継続的にご提案いただき感謝しています。
- ・社内の取り組み意識が向上した。磐田市の名と弊社名で、食品ロス等への啓蒙ポスターを作成し、店舗で掲示する。
- ・今後も削減できるよう取り組みに参加させていただきたいと思います。
- ・具体的な取組みができておらず申しわけございません。
- ・従業員の意識付けとなった。
- ・食品ロスの問題は、市民生活および当社にとって更に重要さが高まるため、意識向上に役立ったと思います。

② 協定に基づく取組みに関する御社の広報誌や新聞、テレビ等で報道発表された取組みについて

- ・食品ロス・プラごみ削減【日本農業新聞 R3.7.14】遠州中央農業協同組合
- ・食品ロス・プラごみ削減【JA遠州中央広報誌ときめきネットワーク 10・11月号】遠州中央農業協同組合
- ・廃棄食材の堆肥化装置導入【静岡新聞 R3.10.8、中日新聞 R3.10.20】遠鉄ストア
- ・子ども食堂へクリーニング済みの子ども服を寄贈【静岡新聞 R4.2.17】浜松白洋舎

③ 今後の取組の参考として、資源ごみの店頭回収や自動販売機の資源ごみ回収ボックスへの異物混入を防ぐため行っている対策等について

- ・飲料自販機のカン・ペットボトルの資源削減・ゴミ削減を考慮して、館内自販機を1台、紙コップの飲料に更新した。
- ・お子さま向けのぬり絵イベントを開催し、作品をラミネート加工後、古紙コンテナに掲示した。古紙コンテナの利用促進が目的だったものの、異物混入を防止する効果もあったと推測されます。
- ・店頭回収ボックスは各店ともお客様が寄りやすいように人通りの多いところに設置しています。そのことが異物混入を減らす一つの要因とも考えております。
あとは回収をこまめに行いボックスから溢れないようにする。
- ・異物が混入していた場合は取り出し後、袋等に入れてここには捨てられませんのでお持ち帰りをお願いしますと表記し、しばらく回収ボックス付近に置いておく。
- ・資源ごみ回収に関しては家庭ごみの持込のリスクや清掃員配備の必要性などを加味し、消極的に考えています。他社さんで参考にできる取り組みがありましたら教えてください。

(2) 食品ロス削減の取組み

回答数 食料品を扱う13事業所(26店舗)

項目	実施状況	各事業所の主な取組内容、効果
(1) 賞味期限間近な食料品の割引販売(食品ロス削減啓発ポップの掲示など)	18/26 (69%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 値引きシールを貼りつけ、販売。 ・ 傷んだ青果を詰め替えて安価で販売しています。 ・ 啓発POPを掲示し、値引きシールも貼付の上、消費期限間近の商品(総菜・パン・野菜)の売り切りを行った。 ・ 啓発ポップの掲示 ・ 賞味期限間近な加工食品には、値引きシールを付け販売しています。ほとんど完売します。 ・ 以前より継続的に実施。生鮮・惣菜商品は日々割引販売を行っており定着しています。 ・ 値引き方法のマニュアル化、割引率の変更(〇〇円引きから〇〇%引きに変更) ・ 割引商品のコーナーを設け販売。ロス軽減に繋がった。 ・ 当日の売り切りが必要な商品については、商品の売れ行きや当日の気候(天気や気温)、お客様の動向・見通し、時間帯などを考慮しながら、商品の見切り販売を実施。その他加工品等についても賞味期限のチェックを行い期限内に売り切るようにしています。 ・ 食品ロス削減ポップ掲示 ・ しっぺいの手前から取ってねレールポップ貼付 ・ 会社作成のフードロス取組ポップ取付効果○ ・ 食品ロスが減少した。
(2) 値引きシールキャンペーンへの参加	25/26 (96%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象(値引き)商品の販売点数増加 ・ 啓発パンフレットをサービスカウンターにて配布 ・ お客様からも好評でキャンペーンハガキを追加で頂きました 効果◎

(3) 期限切れ前商品のフードドライブへの寄付	2/26 (8%)	
(4) ばら売り、量り売り、少量パック等による食料品販売、規格外品の割引	11/26 (42%)	(38%) ばら売り (38%) 少量パック (15%) 量り売り (4%) 規格外品の割引
(5) 期限切れ食品や調理くずの有効活用	3/26 (12%)	<ul style="list-style-type: none"> 野菜に関しては、見た目は悪いが、中身の質・味など問題のないものは、当館レストランで調理して再利用した。 くず野菜の回収→肥料へ
(6) 利用客対象の啓発講座の開催	2/26 (8%)	<ul style="list-style-type: none"> 期限間近商品の購入促進
(7) 各店の広報誌、CM等による啓発	3/26 (12%)	<ul style="list-style-type: none"> グループとしてホームページにて取組を発信 広報誌にて啓発特集ページ有
(8) その他各店独自の取組み	4/26 (15%)	<ul style="list-style-type: none"> 生鮮食品の在庫削減 日々の廃棄商品把握と次回適正発注への反映 夜間の売り切り徹底 小容量品揃えの徹底 割引の時間帯・幅を都度調整する フードロスに取組み、賞味期限内に値引き等をし、各部門で各所に展開し、少しでもロスを減らせるようにしました。
(9) 上記(1)～(8)について今後、新たに取組む予定があれば記入して下さい。	0/26 (0%)	

(3) プラスチックごみ削減の取組み

回答数 14事業所 (33店舗)

項目	実施状況	各事業所の主な取組内容、効果
(1) プラスチック製品の回収へのポイント付与、店頭回収推進	18/33 (58%)	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭回収を実施。ポイント付与は実施せず。 ・店頭にペットボトルや食品トレーの回収ボックスを設置し、買い物時に持参いただける環境の整備 ・ポイント付与はやっていません。ペットボトル、トレーは回収場所を設置してあり営業時間内であればいつでも利用可能です。 効果◎ ・ポップにて掲示
(2) マイバッグ持参の呼びかけ (レジ袋の削減) 【令和4年1月分のレジ袋辞退率】	33/33 (100%)	$\frac{\text{レジ袋辞退者数}}{\text{レジ通過客数}} \times 100 = \text{ \% }$ <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-right: 5px;">954,117</div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 5px;">/</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-right: 5px;">1,057,330</div> <div style="margin: 0 5px;">× 100 =</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-right: 5px;">90.2</div> <div style="margin: 0 5px;">%</div> </div>
(3) 詰め替え商品の購入の呼びかけ	3/33 (9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・販売はしており価格にて差別化。 ・ポップにて掲示
(4) 環境に配慮した素材 (プラスチックに代わる素材) の積極的な活用	5/33 (15%)	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス混合のレジ袋一部使用 ・鮮魚部門にて紙トレイを使用し販売。 ・100%リサイクルポリエステル素材を使用した当社オリジナルのシーズンインナーを発売 ・徐々に切替
(5) 包装の簡素化	6/33 (18%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ラベルレスペットボトルの販売(不定期) ・贈答品の簡易包装 ・お中元、お歳暮での簡易包装での配送 ・生鮮を一部プラスチックトレイから袋に変更 ・メーカー一部ラベルレスペットボトルの販売
(6) 利用客対象の啓発講座の開催	0/33 (0%)	
(7) 各店の広報誌、CM等による啓発	3/33 (9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループとしてホームページにてESGの取組を発信 ・広報誌にて

(8) その他各店独自の取組み	3/33 (9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック資源循環法に則し、お声をおかけしてのお渡し。
(9) 上記(1)~(8)について今後、 <u>新たに</u> 取組む予定があれば記入してください。	2/33 (6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック資源循環法に則し、スプーン、ストローなどの有料化 ・カトラリーの原料を環境配慮素材へ切り替え

5 参考（効果）

（１）レジ袋削減に向けた取組みの効果（推計）

取組内容：マイバッグ持参の呼びかけ（レジ袋の削減）

対象店舗：協賛店 14社（33店舗）

取組期間：通年

推計方法：令和4年1月（1か月間）の各店レジ袋辞退率を調査

- ・レジ袋辞退率 約90% = (約105万人 - 約10万人) / 約105万人
1か月の (店舗全体客数 - レジ袋購入客数) / 店舗全体客数
- ・レジ袋削減枚数 1か月で約100万枚 → 1年間換算で約1,200万枚
- ・レジ袋削減効果（見込み） レジ袋1枚当たり10グラムと仮定して計算

1年間で約120トンのレジ袋を削減（見込み）

（２）食品ロス削減に向けた取組みの効果（推計）

取組内容：値引きシールを集めて食品ロス削減キャンペーン

対象店舗：協賛店のうちキャンペーンに参加した食品取扱店 12社（25店舗）

取組期間：令和3年10月30日～令和4年1月11日（約2か月間）

推計方法：キャンペーン応募総数から値引きシールが貼られた商品の購入数を把握

- ・応募総数 約4,000通×値引きシール5枚 = 20,000商品
- ・食品ロス削減効果 1商品あたり500グラムと仮定して計算

2か月間で約10トンの食品ロスを削減（見込み）

廃棄物の発生を抑制し、循環型社会の形成へ

ゼロカーボンシティに向けた取組みの一環として、今後とも本協定に基づき食品ロス・プラスチックごみの削減に向けた取組みを進めていきますので、市民、事業者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

磐田市 環境水道部 ごみ対策課

〒438-0061 静岡県磐田市刑部島301

（磐田市クリーンセンター内）

TEL : 0538-37-4812 / FAX : 0538-36-9797

E-mail : gomi-taisaku@city.iwata.lg.jp